

【B年】

復活節第二主日

全能の父よ、主は、わたしたちを罪から救うためひとりの御子を死に渡し、また義とするためによりがえしてくださいました。どうか悪意とよこしまのパン種を除き、常にまことの信仰と清き行いをもってあなたに仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

使徒言行録

朗読者 「使徒言行録は第三章十二節から」

12 これを見た。ペトロは、民衆に言った。13 アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、わたしたちの先祖の神は、その僕イエスに栄光をお与えになりました。ところが、あなたがたはこのイエスを引き渡し、ピラトが釈放しようと決めていたのに、その面前でこの方を拒みました。14 聖なる正

しい方を拒んで、人殺しの男を赦すように要求したのです。15 あなたがたは、命への導き手である方を殺してしまいました。16 わたしたちは、このことの証人です。17 ところで、兄弟たち、あなたがたがあんなことをしてしまったのは、指導者たちと同様に無知のためであつたと、わたしには分かつています。18 しかし、神はすべての預言者の口を通して予告しておられたメシアの苦しみを、このようにして実現なさつたのです。19 だから、自分の罪が消し去られるように、悔い改めて立ち帰りなさい。20 こうして、主のもとから慰めの時が訪れ、主はあなたがたのために前もって決めておられた、メシアであるイエスを遣わしてくださいました。21 このイエスは、神が聖なる預言者たちの口を通して昔から語られた、万物が新しくなるその時まで、必ず天にとどまることになっています。22 モーセは言いました。『あなたがたの神である主は、あなたがたの同胞の中から、わたしのような預言者をあなたがたのために立てられる。彼が語りかけることには、何でも聞き従え。』23 この預言者に耳を傾けない者は皆、民の中から滅ぼし絶やされる。』24 預言者は皆、サムエルをはじめその後には預言した者も、今の時について告げています。25 あなたがたは預言者の子孫であり、神があなたがたの先祖と結ばれた契約の子です。『地上のすべての民族は、あなたから生まれる者によって祝福を受ける』と、神はアブラハムに言われました。26 それで、神は御自分の僕を立て、まず、あなたがたのもとに遣わしてください

たのです。それは、あなたがた一人一人を悪から離れさせ、その祝福にあずからせるためでした。」

朗読者 「使徒言行録を終わります。」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第二一編

- 1 ハレルヤ、心を尽くして主に感謝しよう＝ 神をたたえる人々の集いの中で
- 2 主のみ業は偉大＝ みを愛する者は皆これを樂しむ
- 3 そのみ業は力と輝きに満ち＝ その正義はとこしえに及ぶ
- 4 主は不思議なみの業の記念を残された＝ 主は恵み豊かで憐れみ深く
- 5 神を畏れる者には糧を恵み＝ とこしえに契約を心に留めてくださる
- 6 神はその民に力を現し＝ 国々の領地を分け与えられた
- 7 み手の業はまことで正しく＝ すべてのみ論しは揺るぎなく
- 8 世々、とこしえに据えられ＝ まことと正しさに基づ

いている

9 神はその民を救い、契約をとこしえに結ばれた＝ 神の名は尊く、畏るべきもの

10 主を畏れることは知恵の初め＝ これを行う者にはすべてよい悟りが与えられる、神への賛美はとこしえに続く

使徒書

朗読者 「使徒書はヨハネの手紙Ⅰ 第五章一節から」

1 イエスがメシアであると信じる人は皆、神から生まれた者です。そして、生んでくださった方を愛する人は皆、その方から生まれた者をも愛します。2 このことから明らかになうに、わたしたちが神を愛し、その掟を守るときはいつも、神の子供たちを愛します。3 神を愛するとは、神の掟を守ることです。神の掟は難しいものではありません。4 神から生まれた人は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝つ勝利、それはわたしたちの信仰です。5 だれが世に打ち勝つか。イエスが神の子であると信じる者ではありませんか。6 この方は、水と血を通つて来られた方、イエス・キリストです。水だけではなく、水と血とによって来られたのです。そして、「霊」はこのことを証しする方です。「霊」は真理だからです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第二〇章一九節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20 そう言って、手とわき腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」22 そう言うてから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪

は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

24 十二人の一人でデイデイモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。25 そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うとき、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」26 さて八日の後、弟子たちがまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵をかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」28 トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。29 イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」

